

海蔵あくら

四日市市立海蔵小学校
校長室 だより
令和5年 11 月 30 日
第7号
文責 校長 柳川 洋史

言葉を省略しないで

1 年生は「ことばを あつめよう」という国語の時間に、4 グループに分けられた言葉の中から、一つずつ選んで、自然な流れになるように文を作る練習をします。(例：<大きい あまい かたい…><かぶ とびら トマト…><こそこそ ゆっくり どんどん><まるめる たべる ひっばる…>⇒大きい かぶを ゆっくり ひっばる。)

2 年生は国語の時間に、文法用語「主語と述語」を学びます。(例：からすが 鳴く。弟が おどろく。)

3 年生 4 年生になると、「何を」「何に」「いつ」「どこで」「どのように」など「くわしく表す言葉」「修飾語」が加わります。(例：犬が 追いかける。⇒犬が ボールを 追いかける。⇒犬が 元気に ボールを 追いかける。⇒白い 犬が 元気に ボールを 追いかける。)

5 年生では「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」に分類される「敬語」学び、6 年生では「場面に応じた言葉づかい」ができることをめあてにしています。(例：<同級生に対して>ねえ、この本借りてもいいかな？ <先生に>先生、この本お借りしてもいいですか？)

日本語習得には、世界で有数の難易度があるとも言われ、その基本を小学校国語では段階的に学びます。そして平仮名、片仮名、漢字、ローマ字も学習内容に含まれるので、文字を覚えるだけでも大変です。

そうは言いながら、成長過程にある子どもたちはこれまでの経験で身につけた言語力を使い、日本語の文法を理解しきれていなくても、日常会話を行い、生活できています。これはたくましく育ってきたことでもあるのですが、正しいとは言えない言葉の使い方に気づかないまま年齢を重ねるよりも、適切に相手・場に応じた言葉が使えるように意識していくことが、大切なことだと思います。

先月の運動会代休日、近所を歩いていると、3 人の中学生らしきジャージを着た子が自転車に乗りながら横を通り過ぎました。すると突然「あっゴミが来た」との言葉が聞こえてきました。「ゴミが来る」とはどういうことかと不審に思っていると、ゴミ回収車がやってきたのです。この車に乗

主語+述語が適切

わかりやすい！



私は……思います

文章のねじれ

？



私は……原因です

って働いている人が聞いたら、どう思うでしょう。「私たちは、ゴミじゃない」と怒るかもしれません。（※4年生社会「のびゆく四日市」でゴミ回収の大切さ、働く人の思いを学びます）言葉を発した中学生に悪気はなかったのかもしれませんが。

私たちは、数人で飲食店に入る機会があります。注文するときに「私はラーメン」「僕はチャーハン」。言葉の中では「ラーメンの私」「チャーハンの僕」が出てきています。とは言いながら、「自分たちは、ラーメンでもチャーハンでもなく、まぎれもない人間だ」と思っています。そして大抵は、何気なくこのような言葉を使っていて、不思議だと思いません。

家で、こんな言葉を使っていませんか。「テレビを大きくして」とか「頭を切った」とか。テレビは大きくなりませんし、頭を切ったら大変なことになります。日常生活では、これに通じてしまうから不思議です。

学校生活でも同じことが見られます。「先生、カギ」「先生、トイレ」「先生、宿題」これでよいでしょうか。「先生、委員会の活動をするために、図書室のカギを貸してください」と言えた方がよい場面があるのではないのでしょうか。自分の思いを正確に伝えるために、わかりやすく説明するために、話し相手を大切にしている気持ちを言葉に込めるために、言葉を省略せずに話すことを意識して、日々少しずつがんばってみることは、大事な言葉のトレーニングになると思います。国語での学習をきっかけにして、自分の言葉使いを振り返ってみることも良いかもしれません。

今の子どもたちは、語彙力不足だと言われます。（※国語審議会調査によると中学生の語彙が減少。1960年頃が2万5千弱。1980年頃は約2万。2000年代に入ると1万5千）要因はいくつかあるのでしょうか。その一つが、言葉を省略して話すことがあるのかもしれませんが。そのためかどうかわかりませんが、文章を書くこと、説明することが苦手だと感じる人が多くなっているように感じます。

急速にAIが進化し、作文どころか作詞・作曲・音声、絵画制作等、様々な創造的なジャンルのものも人間に代わって生産される時代になってきました。そうであっても、自分の気持ち、考えは、不器用な言葉や文章になるかもしれませんが、自らで表現できる力を育むことは、これから変動していく時代のなかでたくましく生きていくために必要なことではないのでしょうか。今日もコツコツと学ぶ海蔵小の子どもたちの力を伸ばせるように、教職員一同がんばっていきます。

